

社会資本総合整備計画

松川地区都市再生整備計画

平成 25 年 12 月 20 日

長野県松川町

都市再生整備計画(第2回変更)

まつかわ
松川地区

ながの まつかわまち
長野県 松川町

平成25年12月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○子育て教育環境の支援や安全な交通ネットワークの形成、身近な公園整備により、町民が安心して子どもを生み、育てることができる環境を整備します。更に地域住民の交流拠点としての中央公民館では、住民からの要望により、施設内にチャンネルYOU(ケーブルテレビ)を設置することにより、より広く情報発信を行う施設としても活用していきます。</p>	<p>(基幹事業) 道路:神護原線、116号線、118号線、福与線、幹道二期線 公園:富士森公園遊具整備 高次都市施設:中央公民館(地域交流センター) (提案事業) 地域創造支援事業: 防犯灯LED改修 松川中学校プール改修 リフレッシュタウンまつかわの里改修 地域交流センター チャンネルYOU併設 (関連事業) 名子保育園建設事業</p>
<p>○「くだもの里まつかわ」の特徴を生かした観光産業の振興を図るため、観光施設の改修やイベント等ソフト事業の展開を支援するとともに、幹線道路環境の整備を推進します。また、およりの森 森林セラピー基地の認定に伴う施設整備を実施することにより、観光施設と一体化した事業の展開を図ります。</p>	<p>(基幹事業) 道路:福与線、幹道二期線 (提案事業) 地域創造支援事業: 防犯灯LED改修 リフレッシュタウンまつかわの里改修 まちづくり活動推進事業: 農村観光交流センターイベント支援事業 およりの森 森林セラピー基地受付・休憩ポイント及び駐車場設置</p>
<p>その他</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,278.2	交付限度額	511.2	国費率	0.4
---------	---------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		神護原線	松川町	直	L=870m	24	27	24	27	399.5	399.5	399.5		399.5
道路		116号線	松川町	直	L=130m	28	28	28	28	30.0	30.0	30.0		30.0
道路		118号線	松川町	直	L=180m	25	25	25	25	40.0	40.0	40.0		40.0
道路		福与線	松川町	直	L=750m	24	24	24	24	31.5	31.5	31.5		31.5
道路		幹道Ⅱ期線	松川町	直	L=400m	25	25	25	25	20.0	20.0	20.0		20.0
道路		道路案内標識	松川町	直	N=4箇所	25	25	25	25	13.0	13.0	13.0		13.0
道路(地方都市リノベーション事業)														
公園		富士森公園	松川町	直	A=5,298㎡	25	25	25	25	5.0	5.0	5.0		5.0
公園(地方都市リノベーション事業)														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設														
高質空間形成施設														
高次都市施設		地域交流センター(中央公民館)	松川町	直	N=1棟	25	26	25	26	730.0	638.5	638.5	0.0	498.7
地方都市リノベーション推進施設														
生活拠点施設														
既存建造物活用事業(地方都市リノベーション推進)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
拠点開発型														
住宅市街地	沿道等整備型													
総合整備	密集住宅市街地整備型													
事業	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,269.0	1,177.5	1,177.5	0.0	1,037.7

提案事業(継続地区の場合のみ記載)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	防犯灯	LED化事業	松川町	直	N=454箇所	24	25	24	25	14.4	14.4	14.4		14.4
	松川中学校	プール改修	松川町	直	N=1箇所	24	24	24	24	67.9	67.9	67.9		67.9
	リフレッシュタウンまつかわの里	施設改修	松川町	直	N=1箇所	24	25	24	25	23.7	23.7	23.7		23.7
	地域交流センター	チャンネルYOU施設整備	㈱チャンネルYOU	間	N=1箇所	26	26	26	26	730.0	89.0	0.0	89.0	89.0
	およての森 森林セラピー基地	受付・休憩ポイント及び駐車場設置	松川町	直	N=1箇所	26	26	26	26	10.0	10.0	10.0		10.0
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業	農村観光交流センター	イベント支援事業	松川町	直	N=1箇所	24	28	24	28	35.5	35.5	35.5		35.5
合計										881.5	240.5	151.5	89.0	240.5

(参考)関連事業

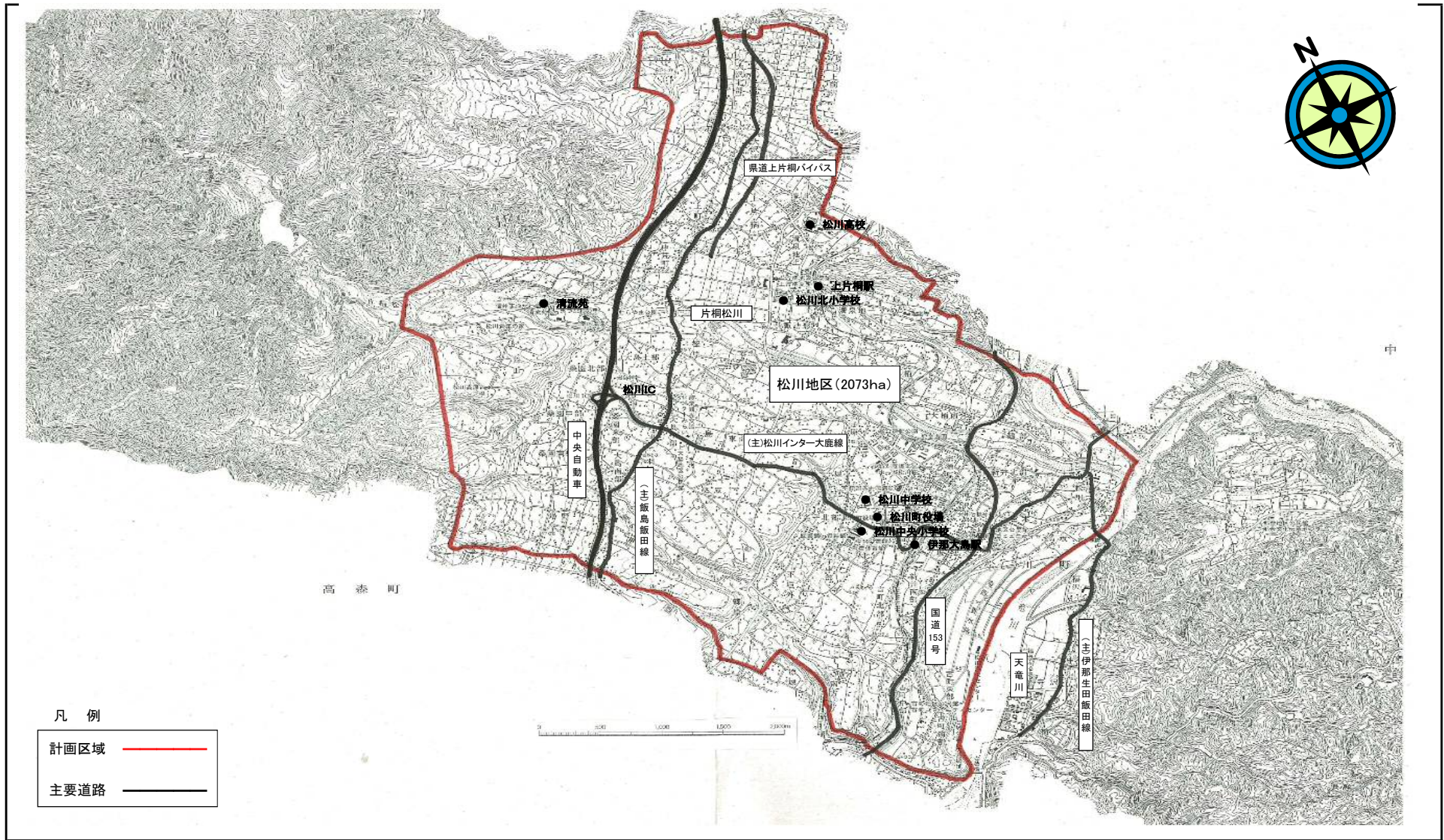
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
名子保育園建設事業	松川町元大島	松川町	厚生労働省	N=1棟			○		H26	H27	600.0
合計											600.0

…A

…B

都市再生整備計画の区域

松川地区(長野県松川町)	面積 2073 ha	区域 松川町の上片桐地区の一部、元大島地区の一部、大島地区の一部
--------------	---------------	-------------------------------------

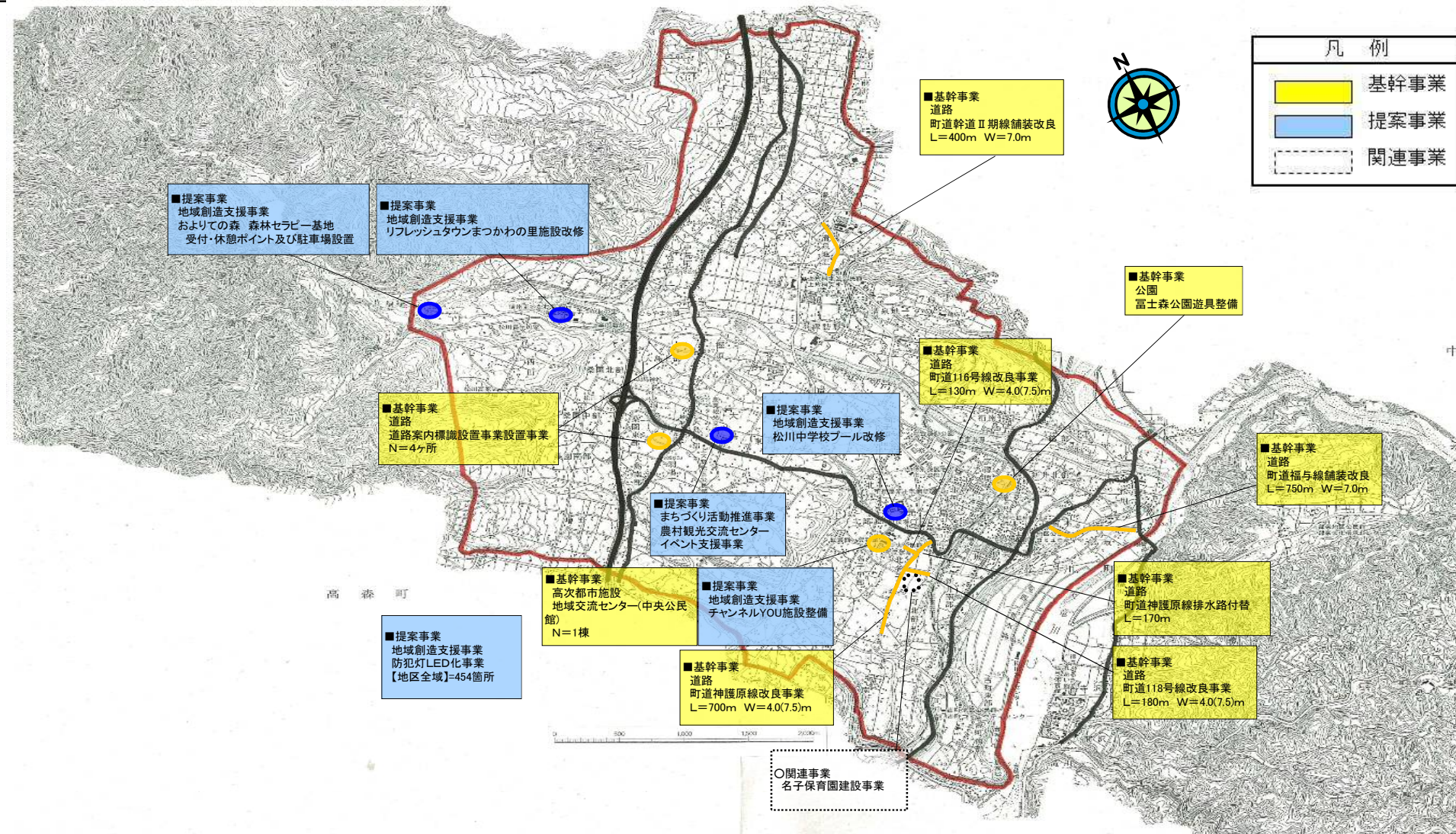


松川地区(長野県松川町) 整備方針概要図

テーマ「水と緑と太陽のまち まつかわ」
 目標1:「ずっと住み続けたい、住んでみたいまち」を目指し、安心して子どもを産み育てられるまちをつくります。
 目標2:「くだもの里まつかわ」の特徴を生かした観光産業の振興を図ります。

代表的な指標

生涯学習団体登録児童生徒等数 (人)	706 (23年度) →	700 (28年度)
観光人口 (百人)	2,490 (21年度) →	2,490 (27年度)



都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

まつかわ 松川地区 ながの (長野県 まつかわまち 松川町)






松川地区(長野県松川町) 現況図

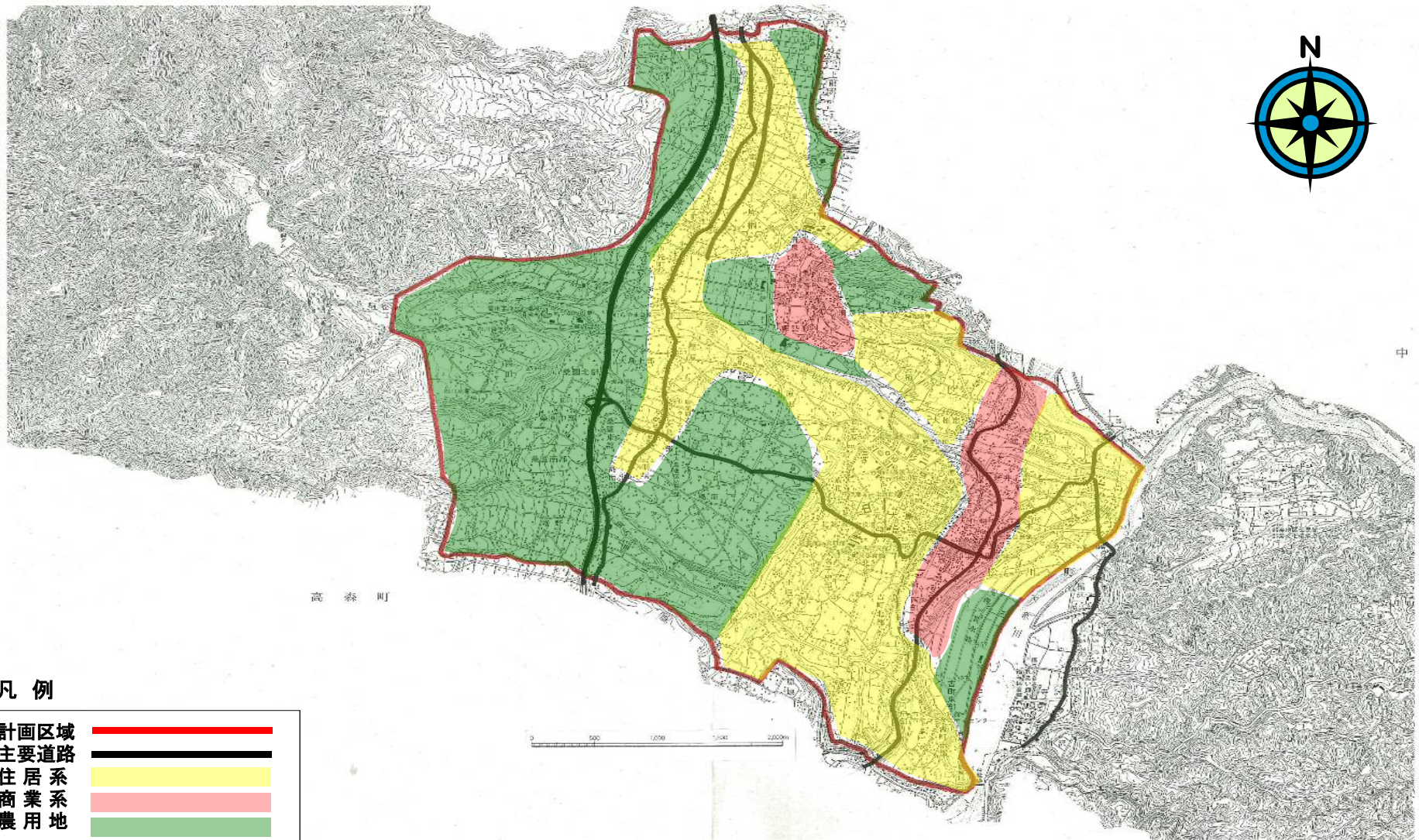


中

高森町

凡例

計画区域	
主要道路	
住居系	
商業系	
農用地	



交付限度額算定表(その1)

松川地区 (長野県松川町)

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	511.2 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	95,358.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	511.2 百万円
----------------------	-----------	-----------------------	--------------	----------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au 8,292,000 m²

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	20,730,000		
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	区域の面積が10ha未満の地区	0.50	
	最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45	
	その他の地域	0.40	

CI 0 円/m²

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	
公示価格の平均値(円/m ²)	

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf 23,000 円/m²

控除額 0 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

要綱第5に掲げる式による限度額算定

<社会資本整備総合交付金>

交付対象事業費	基幹事業(A)	1,037.7 百万円
	提案事業(B)	240.5 百万円
	合計	1,278.2 百万円

Ap 0 m²

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	-	
公園	-	
広場	-	
緑地	-	
公共施設合計	0	0

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 95358 百万円

ΣCn 0 円

下水道	0 円
区域面積(m ²)	20,730,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	380,000

調整池 0 円

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川 0 円

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設 0 円

建設予定戸数(戸)	超高層		
	一般		
	合計	0	
標準整備費(円/戸)	超高層	一般	
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多摩寒冷地	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 95358 百万円

- 交付要綱第5 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 交付要綱第5 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 交付要綱第5 5)式・6)式の適用[リノベ事業の50%拡充]

交付限度額算定表(その2)

松川地区 (長野県松川町)

交付要綱第5に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	1,037.700	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	511.280	① (国費)
	提案事業合計(B)	240.500	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	576.500	② (国費)
	合計(A+B)	1,278.200	(事業費)	上記①、②の小さい方	511.280	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.189		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	511.280	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	511.280	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)	⇒ 執行額を足した額	511.280	⑨ (国費)
				補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	511.280	⑩ (国費)
				補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	⇒	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)				
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	⇒	適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)		4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	511.280	⑯ (国費)
--------------	---------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	1,278.2	(事業費)	⇒	交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	511.2	⑰ (国費)
				国費率	0.400	⑱ (国費率)

様式8 年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業	細項目								
道路		神護原線	松川町	399.5	119.2	80.0	120.0	80.3	
道路		116号線	松川町	30.0					30.0
道路		118号線	松川町	40.0		40.0			
道路		福与線	松川町	31.5	31.5				
道路		幹道Ⅱ期線	松川町	20.0		20.0			
道路		道路案内標識	松川町	13.0		13.0			
公園		富士森公園	松川町	5.0		5.0			
古都及び緑地保全事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設									
高次都市施設		地域交流センター(中央公民館)	松川町	498.7		13.7	485.0		
既存建造物活用事業									
地方都市リノベーション推進施設									
生活拠点施設									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型								
	沿道等整備型								
	密集住宅市街地整備型								
	耐震改修促進型								
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				1,037.7	150.7	171.7	605.0	80.3	30.0
提案事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業	細項目								
地域創造 支援事業	防犯灯	LED化事業	松川町	14.4	7.4	7.0			
	松川中学校	プール改修	松川町	67.9	67.9				
	リフレッシュタウンまつかわの里	施設改修	松川町	23.7	5.7	18.0			
	地域交流センター	チャンネルYOU施設併設	松川町	89.0			89.0		
	およりの森 森林セラピー基	受付・休憩ポイント及び駐車場設置	松川町	10.0			10.0		
事業活用 調査									
まちづくり活 動推進事業	農村観光交流センター	イベント支援事業	松川町	35.5	1.0	1.5	31.0	1.0	1.0
計				240.5	82.0	26.5	130.0	1.0	1.0
合計				1,278.2	232.7	198.2	735.0	81.3	31.0
累計進捗率 (%)					18.2%	33.7%	91.2%	97.6%	100.0%

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長 <small>m</small>	幅員		整備後 車線数 <small>車線</small>	歩道 幅員 <small>m</small>	まち交 事業費 <small>百万円</small>	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 <small>注3)</small>	都市計画 決定 <small>年月</small>	備 考 <small>注4)</small>
							整備前 <small>m</small>	整備 <small>m</small>							
<道路>				-											
神護原線	名子中部	地	町	-	拡幅	870	5.0	7.5	1.5	2.0	399.5	24-27	道路幅員拡幅改良	-	
116号線	北名子	地	町	-	拡幅	130	2.5	7.5	1.5	2.0	30	28	道路幅員拡幅改良	-	
118号線	北名子	地	町	-	拡幅	180	2.5	7.5	1.5	2.0	40	25	道路幅員拡幅改良	-	
福与線	馬坂	地	町	-	舗装	750	6.75	6.75	2	2.0	31.5	24	舗装改良	-	
幹道Ⅱ期線	清泉地上	地	町	-	舗装	400	6.5	6.5	2	2.0	20	25	舗装改良	-	
東原線	東浦	地	町	-	標識	4箇所	-	-	-	-	13	25	道路案内標識	-	

(参考)

<関連事業>															

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>については通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築:交通量(人/日)、混雑度等

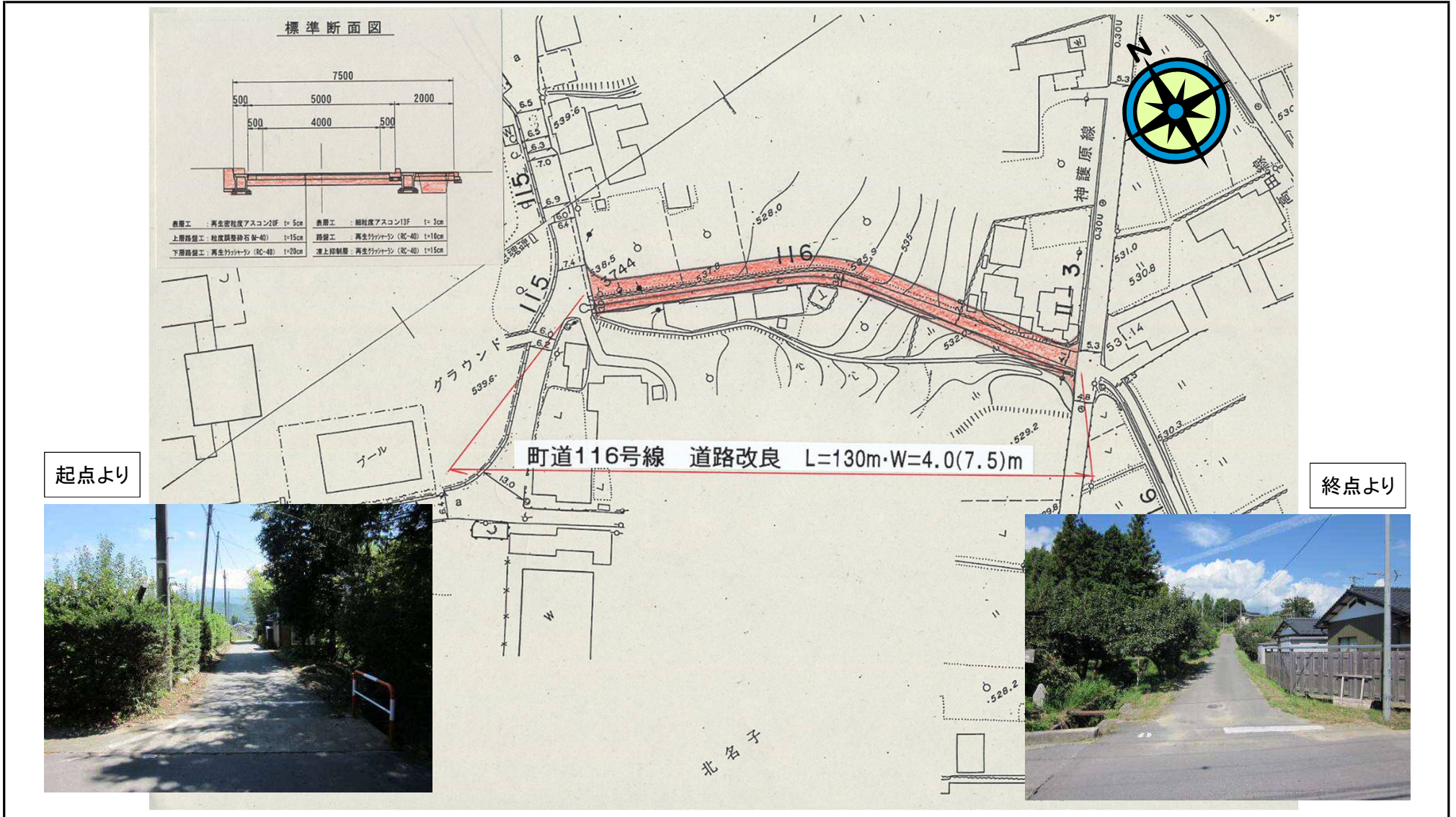
・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。

* 不足する場合は適宜行を追加すること

道路事業 町道116号線 平面図

延長 130m 幅員 4.0(7.5)m

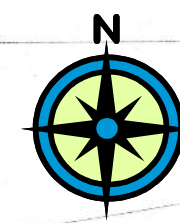
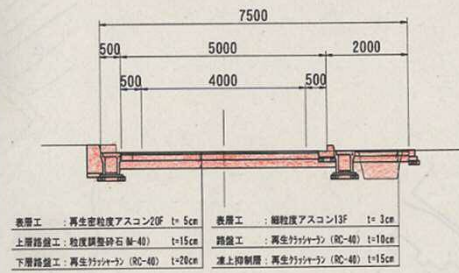


道路事業 町道118号線 平面図

延長 180m

幅員 4.0(7.5)m

標準断面図



町道118号線 道路改良 L=180m W=4.0(7.5)m

起点より



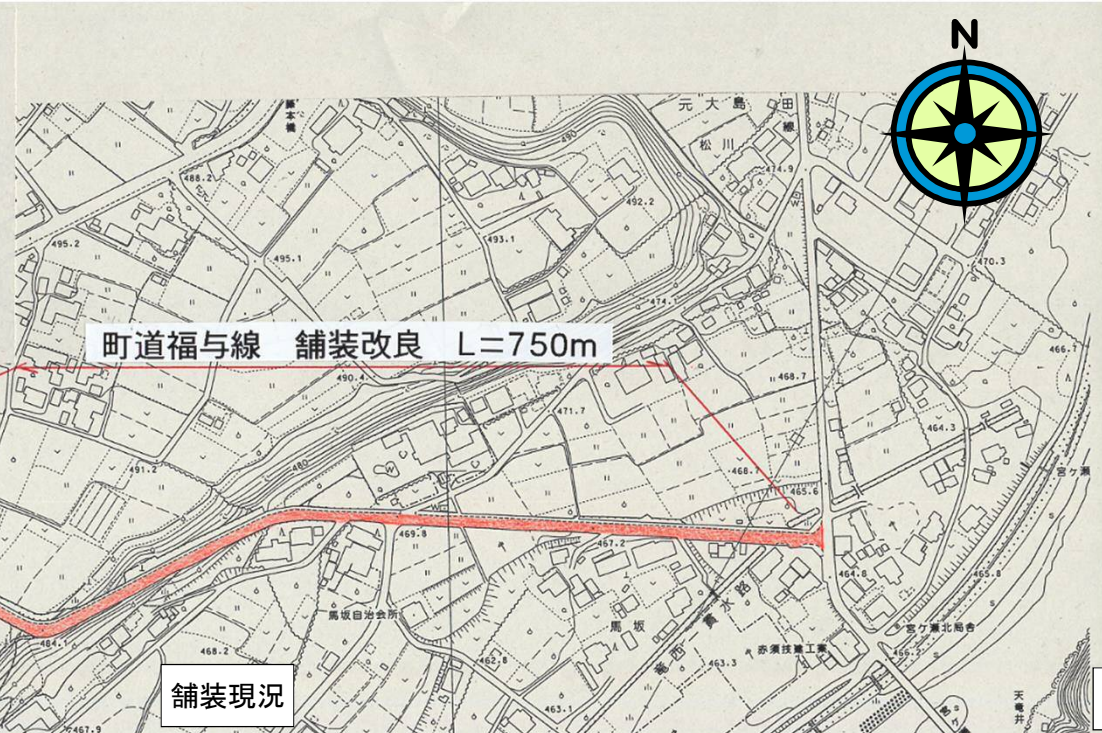
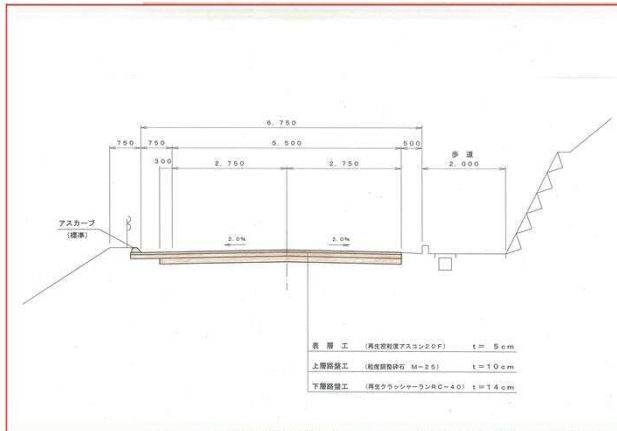
終点より



道路事業 町道福与線 平面図

延長 750m

幅員 6.75m



終点より



舗装現況

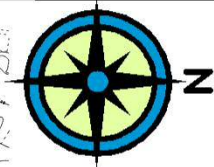


起点より



道路事業 道路案内標識

規模 4箇所



公園(都市公園補助事業採択要件外)

公園等名(*1)	種別等(*2)	事業主体(*3)	概要(面積(m ²)等) (*4)	交付期間内 事業費(百万円)	交付期間内事業費内訳			備考(*5)
					設計費 (百万円)	用地費 (百万円)	施設整備費 (百万円)	
富士森公園	街区公園	松川町	5,298m ²	5			5	遊具整備
合計	—	—	—	5	0	0	5	—

*1 公園等名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。

*2 「種別等」欄には、都市公園の種別である「街区公園」、「近隣公園」、「地区公園」、「特定地区公園」、「総合公園」、「運動公園」、「動植物公園」、「歴史公園」、「広域公園」、「レクリエーション都市」、「風致公園」、「墓園」、「緩衝緑地」、「都市緑地」、「緑道」のいずれかを記入。

都市公園でない場合は「無」を記入し、「概要(面積等)」欄に制度上の位置付け(条例設置公園等)を簡潔に記載。

*3 「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)

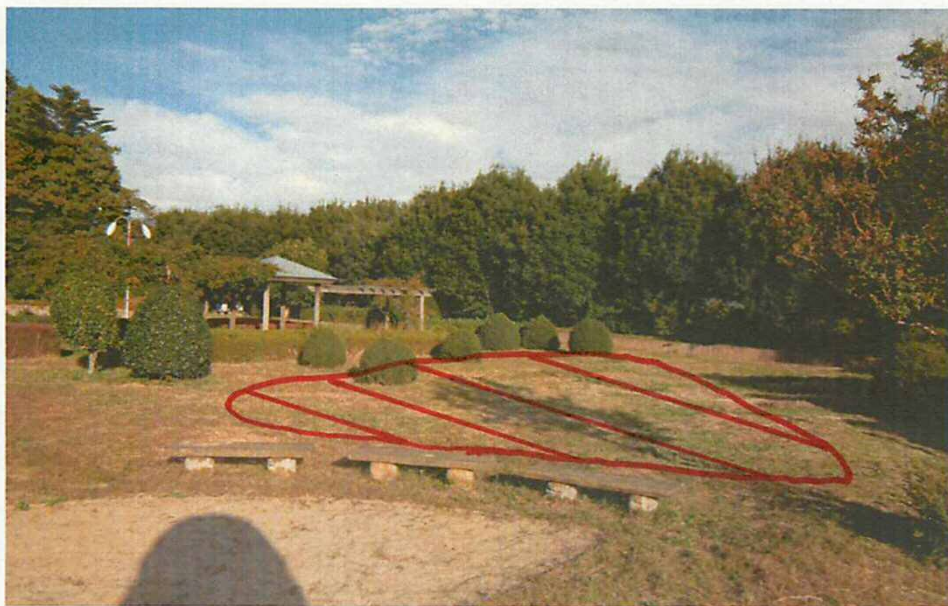
*4 「概要(面積(m²)等)」欄には、都市公園でない場合に公園としての制度上の位置づけを記入する他、計画面積(単位:m²)等を記入すること。

*5 「備考」欄には整備する主な施設(園路、植栽、あずまや、体験学習施設等)を簡潔に記載。

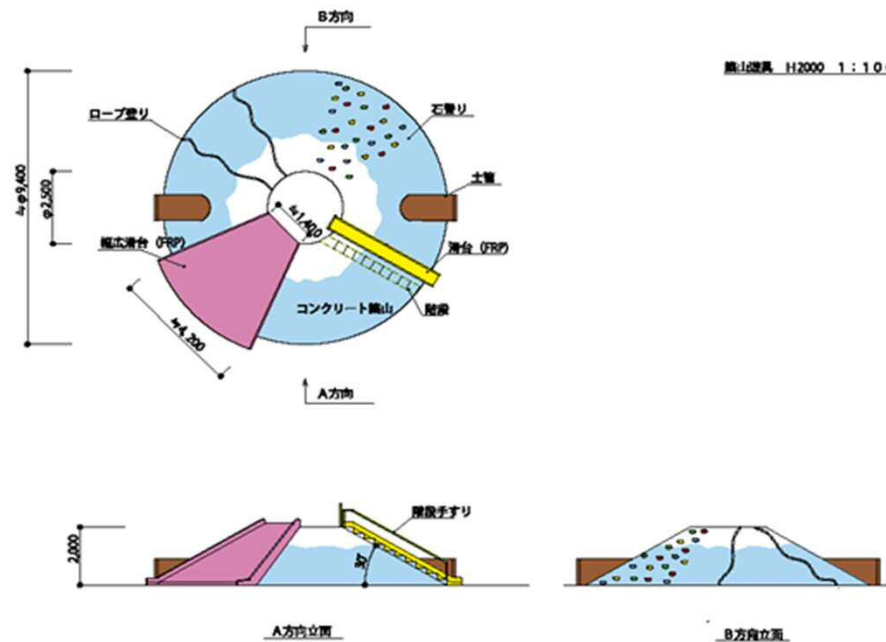
*6 青色で着色してあるセルは自動計算されるので入力しないこと。

富士森公園 遊具整備

設置箇所の現況



イメージ図

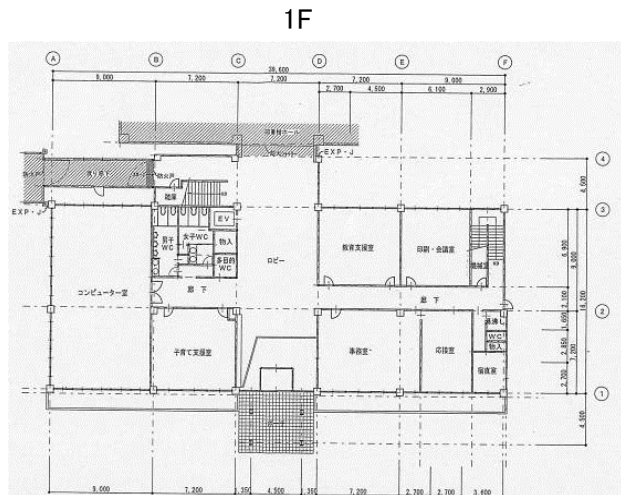


〔富士森公園遊具整備〕

○幼児用遊具 N=1基

都市公園である本公園は親子の利用が多くあり、幼児用遊具を整備することで、子育て環境の充実を図ろうとするものです。

計画(素案)平面図



[地域交流センター(中央公民館)]

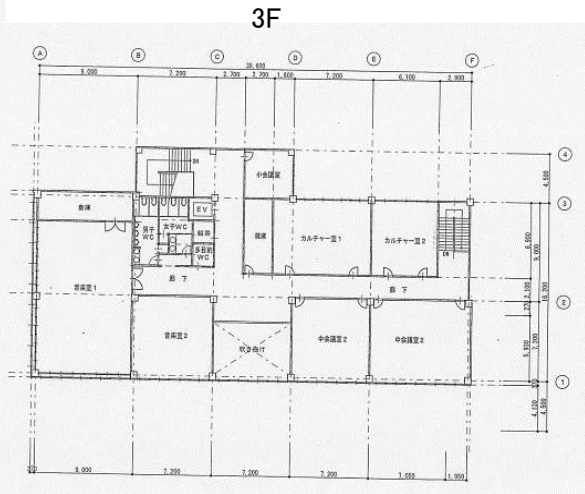
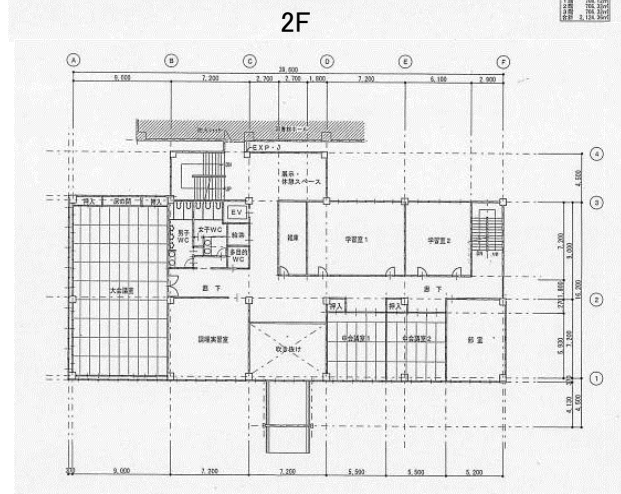
N=1棟
 1F 708.74㎡
 2F 706.03㎡
 3F 706.03㎡
 計 2,120.80㎡

(事業概要)

松川町中央公民館は、築後40年が経過しており、利用ニーズ変化への対応や耐震補強の必要性が生じており、生涯学習環境の充実及び地域活性化の拠点施設として改築しようとするものです。

- 平成25年度事業計画
⇒ 測量設計業務委託
- 平成26年度事業計画
⇒ 改築工事

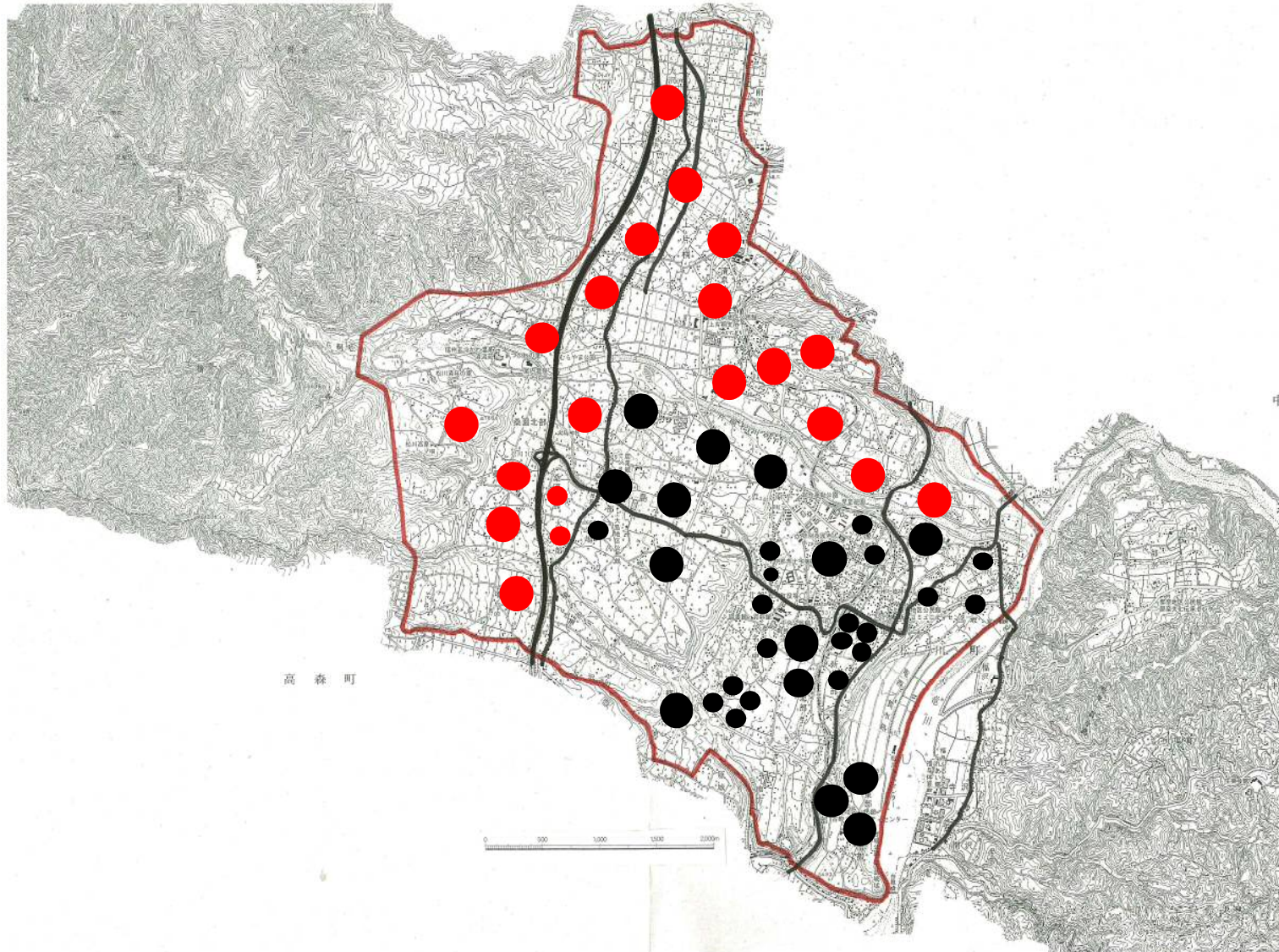
現況写真(正面玄関側より)



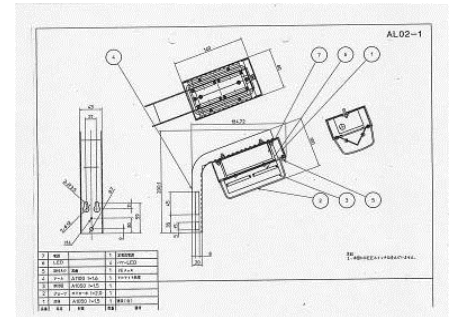
事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

(単位:百万円)

事業名	事業概要	事業主体	規模	交付期間内事業期間		交付期間内事業費				事業費の主な使途概要	その他
				開始年度	完了年度	うち調査費	うち用地費	うち整備費	うち購入費		
地域創造支援事業 防犯灯LED化事業	既設防犯灯について、LED防犯灯へと改修整備する。	松川町	N=454箇所	24	25	14.4			14.4	防犯灯LED化改修 N=454箇所	
地域創造支援事業 松川中学校プール改修	松川中学校プールの改修整備を行う。	松川町	N=1箇所	24	24	67.9			67.9	松川中学校プール大規模改修 プールろ過装置施設改修 1棟 プール更衣室改修 1棟 プールトイレ改修 1棟 プール水槽塗装改修 一式 プールサイド改修 一式	
地域創造支援事業 リフレッシュタウンまつかわの里改修	リフレッシュタウンまつかわの里施設の改修を行う。	松川町	N=1箇所	24	25	23.7			23.7	屋内スポーツ施設音響設備整備工事 一式 " 屋内芝張整備工事 一式 室内温水プールオゾン設備整備 一式	
地域創造支援事業 地域交流センター内 ケーブルテレビ局併設 事業	地域交流センター内にチャンネルYOU(ケーブルテレビ局)施設を併設する。	松川町	N=1箇所	25	26	91.5			91.5	チャンネルYOU(ケーブルテレビ局)施設併設工事 一式	代表者:(松川町長) 深津徹 構成員数:延3,950件 活動実績: ①テレビ・音声告知 放送事業 ②インターネット事業
地域創造支援事業 およりの森 森林セラ ピー基地 受付・休憩ポ イント及び駐車場設置	平成25年3月に認定されたおよりの森 森林セラピー基地に受付・休憩ポイント及び駐車場を整備する。	松川町	N=1箇所	26	26	10.0			10.0	受付・休憩ポイント設置工事 一式 駐車場整備工事 一式	
まちづくり活動推進事業 農村観光交流センター イベント支援事業	農村観光交流センターを拠点に、住民有志によるイベント活動を支援するためのイベント広場を設置する。	松川町	N=1箇所	24	28	35.5			35.5	イベント費用 イベント広場整備工事 一式	



LED防犯灯設計図



[防犯灯LED改修]

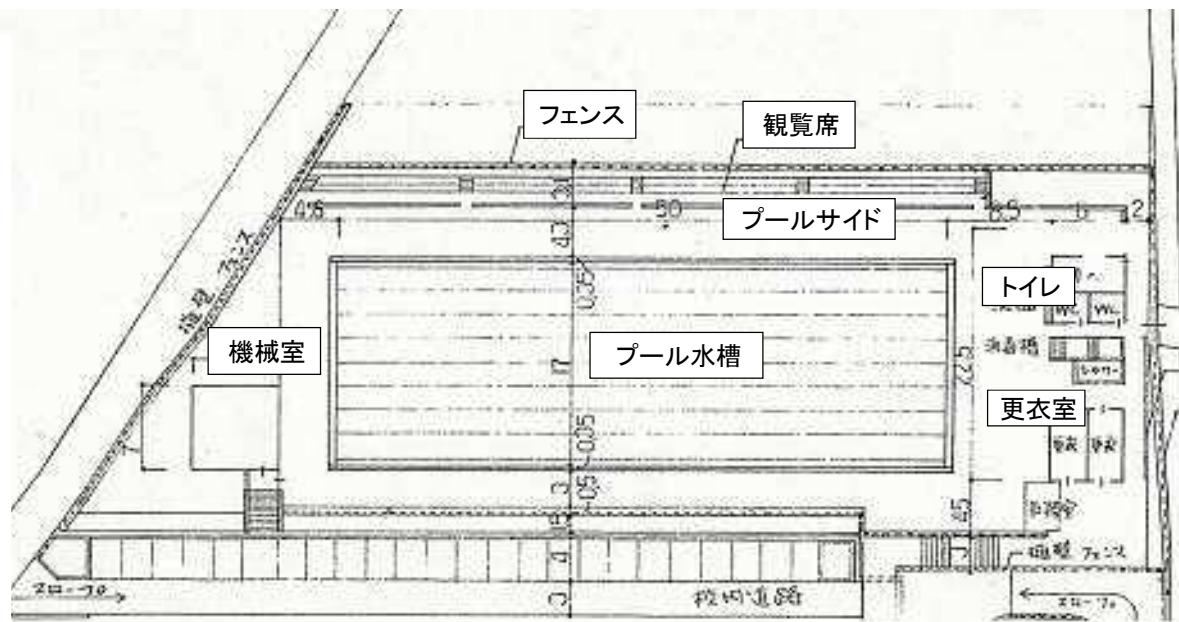
計画区域内にある既設防犯灯について、LED改修を行う。

計画区域内54エリア
(N=454箇所)

- H24年度実施箇所
N=234箇所
- H25年度計画箇所
N=220箇所

(概要)

- ①機械室棟濾過装置改修
全自動型可逆式珪藻土濾過装置設置
及び耐震補強改修一式
- ②更衣室棟耐震補強改修
耐震補強、バリアフリー化、建具の改修
- ③トイレ棟改修
耐震補強、バリアフリー化、衛生器具改修
- ④プール水槽塗装改修
水槽塗装1,094㎡
- ⑤プールサイド改修工事
プールサイド土間ゴムチップ舗装
1,027㎡、飛込台改修、排水溝整備U字
溝119m、観覧席モルタル塗装、アルミ
フェンス改修整備H=1.8m×170m)



①可逆式珪藻土濾過装置



②更衣室③トイレ



④プール水槽



⑤プールサイド改修

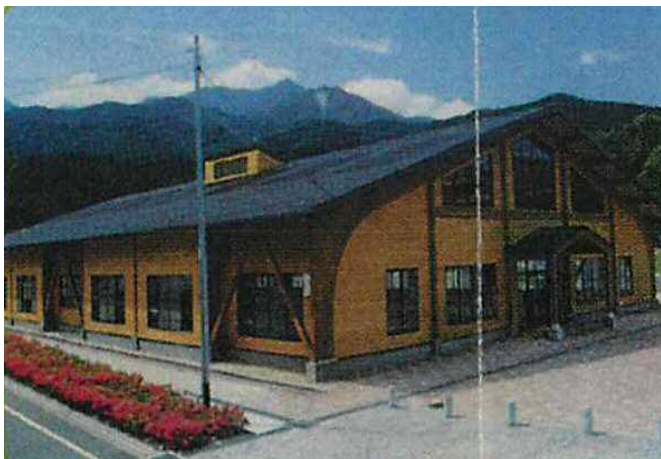


リフレッシュタウンまつかわの里

室内温水プールの現況



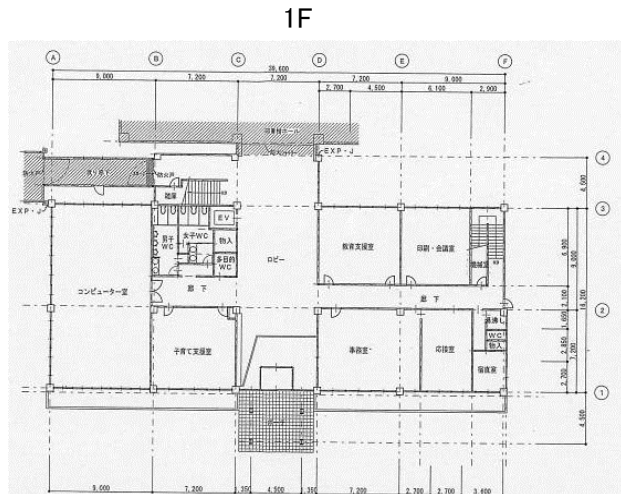
屋内スポーツ施設の現況



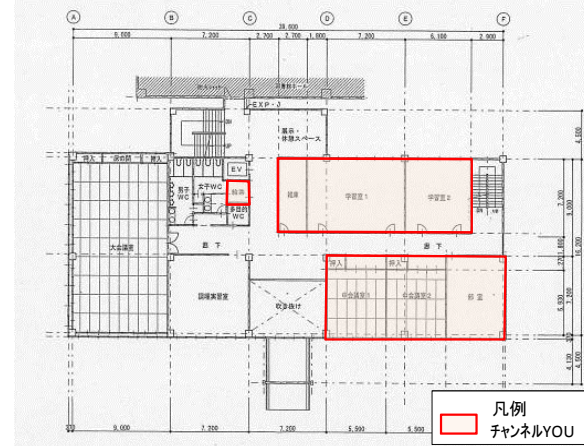
[リフレッシュタウンまつかわの里改修]

- 屋内スポーツ施設
音響設備整備 一式
屋内芝張整備 一式
- 室内温水プール
オゾン設備整備 一式

計画(素案)平面図



2F



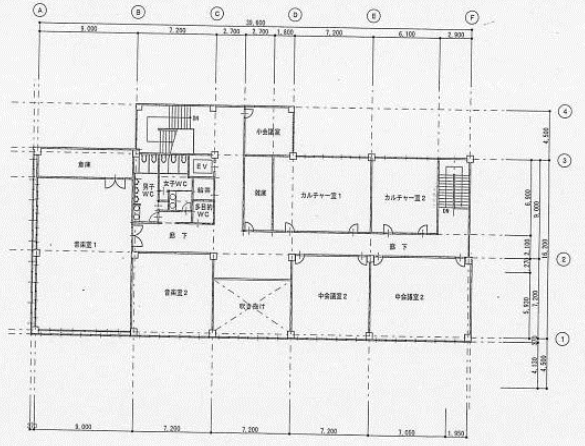
[地域交流センター(中央公民館)チャンネルYOU(ケーブルテレビ局)施設併設工事]

N=1棟
 1F 708.74㎡
 2F 706.03㎡
 3F 706.03㎡
 計 2,120.80㎡

(事業概要)
 松川町中央公民館の改築工事に伴い、住民から要望の強い、老朽化したチャンネルYOU(ケーブルテレビ局)施設(昭和46年2月建設)を併設することにより、生涯学習の拠点と合わせ、広く情報発信ができる施設として活用していきます。

- 平成25年度事業計画
 ⇒ 基本・実施設計業務委託
- 平成26年度事業計画
 ⇒ 改築工事

3F



現況写真(正面玄関側より)



現況写真(建物裏側より)



〔およりの森 森林セラピー基地
受付・休憩ポイント及び駐車場設置事業〕

H26年度施工

○およりの森 森林セラピー基地

- ・受付・休憩ポイント設置 一式
- ・駐車場整備(普通車35台程度) 一式



拡大図

【森林セラピー基地について】

およりの森周辺が森林セラピー実験等により、生理的にリラックス効果をもたらすことが実証され、平成25年3月22日、森林セラピー基地に認定されました。

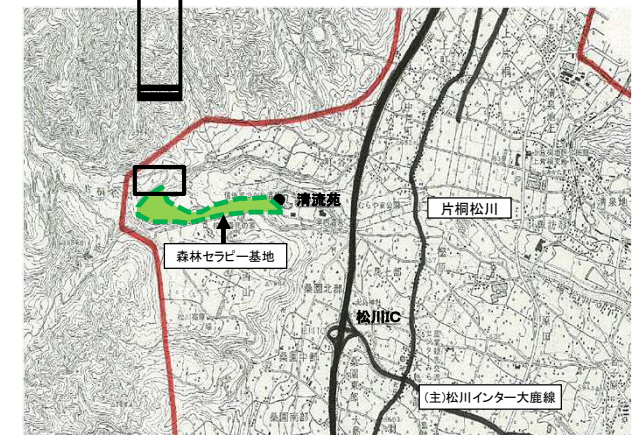
「森林セラピー基地」とは、単なる「森林浴」とは異なり、良質な森林散策ができる「歩道(森林セラピーロード)」と、癒しの時間を提供できる「案内人」、健康・快適性に配慮した「おもてなし」、その全ての環境が整って、はじめて「森林セラピー基地」として認定されます。

およりの森 森林セラピー基地は、リフレッシュタウンまつかわの里に隣接しており、都市再生整備計画における観光産業の一層の振興を図るための重要なツールとなります。



←セラピーロード

森林セラピー
基地認定証 →



農村観光交流センター みらい イベント支援

1. 企画運営主体

農村観光交流センター運営委員会 イベント実行委員会

○組織

- (1) 町長、副町長
- (2) 町議会議長、産業建設常任委員長
- (3) 町農業委員会長
- (4) みなみ信州農業協同組合まつかわ地域事業本部理事、地域事業本部長
- (5) 町認定農業者連絡会長
- (6) 若手農業者の代表
- (7) 女性農業者の代表
- (8) 町商工会長
- (9) 町観光協会宣伝部長

2. 目的

前期計画により観光拠点となる農村観光交流センターが整備されており、ソフト事業を展開させるとともに、イベント広場を併設して観光産業の一層の振興を図る。

- ・実行委員会方式とし、当面事務局は産業観光課内に置き、本計画期間中において、実行委員会主催のイベント開催等活動を支援し、定着を図る。
- ・地域の特産品を幅広く周知させるため、イベント広場を併設して、観光拠点として一層の活用を図る。
- ・将来的には、住民主体(NPO等)による運営へとつなげる。

3. 事業内容

- (1) 観光農業及び農業体験の推進
- (2) 他地域住民との交流及びイベントの開催
- (3) 町観光総合案内及び広域観光案内に関する、宣伝、PR、イベントの開催に係る活動費を補助し、支援する。
- (4) イベント広場を併設する。

○イベント

- ・なし祭りやふじまつりなどイベント開催補助
- ・くだもの里まつかわロードレース大会など地区の特徴を生かしたイベント共催補助

○イベント広場整備利用計画

- 【概要】仕様:幅18.2m 奥行き10m(5m下屋) 内容:給排水施設・調理台付スペース、直売スペース、休憩スペース、トイレ
- 【実施事業】各種イベントの開催(体験・展示会等)、特産品等の販売、憩いの場等
- 【開設日】週末及び行楽シーズン(不定期)
- 【利用者】個人、なかよし直売、山都、くだもの観光協会、ロードレース等実行委員会

■ イベント支援 計画期間
H24年度～H28年度(5箇年計画)

■ イベント支援 事業費
C=5,000,000円(1,000,000円/年間)

■ イベント広場整備 一式

◆ H25年度 事業
◎ 湧水・古木等パンフレット ⇒ 1万部作成
◎ イベント広場整備設計委託一式

◆ H26年度 事業
◎ イベント広場整備工事 一式

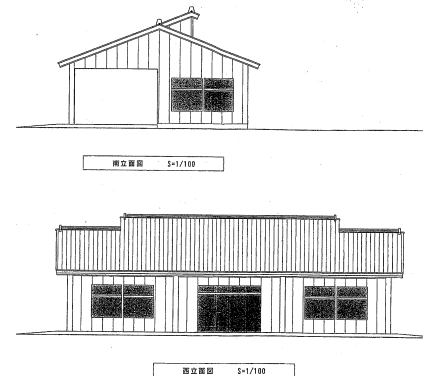
イベント開催の様子(平成24年度)



農村観光交流センターみらいの現況



イベント広場立面図(案)



センター施設必要性(新規整備)

様式5

都道府県	長野県	市町村	松川町		
地区名	松川地区				
センター施設の名称	松川町地域交流センター(松川町中央公民館)				
事業費(百万円)	730	延べ床面積(㎡)	2,120		
事業期間	H25～H27				
年度計画(百万円)	H25:(設計) H26～27:(建設)				
事業の熟度	概略設計済み	建設	○	購入	
センター施設の概要	松川町の生涯学習を総合的に推進するとともに、地域活性化に資する地域交流の拠点施設として、既存施設を改築し、機能アップを図るものです。 (会議室、学習室、カルチャー室、音楽室、調理実習室、部室、コンピューター室、子育て支援室、教育支援室、印刷・会議室、事務室、応接室)				
支援対象	生涯学習団体全般、子育てグループ、まちづくり活動グループ等の会議学習の機会を支援します。				
必要性等	<p>○既存施設で利用の多い幼年期、壮年期、老年期の住民に加え、青年期の住民も利用できる施設ニーズが高まっています。</p> <p>○文化芸能活動に対する施設の充実が求められています。(例:カルチャー室や音楽室を新設します。)</p> <p>○高齢化社会の到来や子育て支援を充実させるため、ユニバーサルデザインの導入が求められています。(例:既存施設では畳であった会議室を床にして利用しやすい施設とします。)</p> <p>○既存施設について、耐震診断の結果、必要な耐震強度を見対しておらず、耐震補強を行う必要があります。</p>				
利用見込み	<p>○年間約1,500団体の利用が見込まれます。 (主な利用団体) 公民館活動団体、文化協会関係団体、子育てサークル、まちづくり活動団体、学習支援グループ等</p>				

【提出様式】

事業効果分析結果シート

地方整備局名	都道府県名	市町村名	地区名
中部地方整備局	長野県	松川町	松川地区

○事業効果の分析について

選択欄 (該当するものに○)	事業効果の分析方法	分析結果		
	① 1世帯あたりの事業費を示し、住民の賛同を把握した。	総事業費/世帯 (円)	賛同率 (%)	
	② 事業全体の便益をCVM法を用い把握した。	便益(B) (百万円)	費用(C) (百万円)	費用便益比 (B/C) ※1
○	③ その他の方法(個別事業単位でのB/C)で把握した。	※下表に記入のこと。		
	④ 交付対象事業費が10億円未満。			

その他の方法(個別事業単位でのB/C)の場合

事業区分	施設名 (箇所名/路線名など)	事業費 (百万円)	費用便益分析の実施状況 (該当するものに○) ※2				便益(B) (百万円)	費用(C) (百万円)	費用便益比 (B/C) ※1 ※3
			継続事業の場合		新規事業の場合				
			A	B	C	D			
基幹事業	地域交流センター	730.0				○			1.00
合計									

注) ※1 費用便益比は四捨五入により小数点以下第2位まで記入

※2及び※3の記入要領

ケース	※2の該当区分	※3への記入方法
A	事業が継続事業で、費用便益分析を実施済みのもの。	費用便益比(値)を記入
B	事業が継続事業で、事業評価制度導入前の採択のため、費用便益分析を実施していないもの(ただし再評価の実施要件に該当していないもの)。	「1.00」を記入
C	事業が新規事業で、それぞれの事業毎の既往の方法により費用便益分析を実施したもの。	費用便益比(値)を記入
D	費用便益分析手法が開発されていないため、費用便益分析を実施しないもの。	「1.00」を記入

○民間投資等による波及効果について

事業名	事業箇所名	事業主体	全体事業費 (百万円)	規模	確認の方法

社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称:松川地区都市再生整備計画 事業主体名:松川町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○